

此全國労働團體大會ハ大正十年一月汝國
僅ノ豫定ヲ以テ關西方面加具川甚之次、關
東方面高田和逸、山本鶴花等ノ使遣
委員トシ調査協議ヲ行シ、アリシガ関東
方委員ノ調査ニ依リテ友愛會以外ノ労働
團體ハ内容貧弱ナルモノ多ク、中ニ一、二
人一党ニ過ギザルモノアリテ是等團體ト比シ自
行動スルハ考テ慮ヲ要スル所ナルニテ、大
大會ハ全國労働者ノ大同團結ヲ圖ル豫
備ナリトセバ、目下其時期尙早ナリトノ
意見見テ発表シ、自然委員兼任ノ旨
ヲ漏セルニ依リ、十一月十八日東京聯合會
ニ於ケル臨時總會ニ於テ、關東方面ニ於テ
ル委員モ一應關西方面委員ハ之ハ關川甚
之次ニ任スルヲトシ決定セリ

(十一月十八日)
警察視聽ニ就

(ハ) 横濱仲立同盟會等ノ挽回策企劃
財界ノ不振ニ伴ヒ、斯業業者ニ及ボハ、且輕
至大ナルモノアリ、労働銀ノ減少ニ次クニ失業者
ノ續出ヲ以テ、遂ニ労働者ノ生活ニ
在リテ以テ之カ、今ノ最難關ニ在リ、
以テ、離散防止策トシテ、十一月五日付
版法ニ據リ、労働者ノ團結ハ、
員其他ニ頒布シテ、労働力挽回ニ
アルモ、依然不振ノ状況ニテ、
該機關試